

(平成 29 年度) 自 己 評 価 表

愛媛県立宇和島東高等学校(定時制)

学校番号

4 3

| | | | |
|------|-------------------------------------------------------------|------|---------------------|
| 教育方針 | 人格の完成を目指して、敬愛・自律・進取の精神を培い、21世紀をたくましく生きぬく心身ともに健康な生徒の育成に努めます。 | 重点目標 | 伝統を礎に、新たな宇東創造へ確かな前進 |
|------|-------------------------------------------------------------|------|---------------------|

| 領域 | 評価項目 | 具体的目標 | 評価 | 目標の達成状況 | 次年度の改善方策 |
|-------------------|----------------------|------------------|----------|-------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| 自己実現 | わかる授業・考える力が身に付く授業の実践 | 生徒の授業満足度100% | B | 授業満足度のアンケート結果は4.8であった。(5点満点中) | 生徒の自己実現に沿った履修選択ができるよう、時間割編成等を検討する。 |
| | | 教員の研修・研究授業参加5回以上 | A | 全日制の授業参観も含め一人5回以上、各種研修に参加できた。 | 他教科の授業も積極的に参観するなどして、資質向上を目指す。 |
| | 学習習慣の確立 | 小テスト月1回以上 | B | 各教科で小テストに取り組んでいるが、教科によって回数に差があった。なお、教科とは別に、全生徒対象の社会人基礎講座で小テストを年間9回実施した。 | 評価の在り方を一層考慮した小テストを行うとともに、粘り強く、学習習慣の確立を目指す。 |
| | 希望進路の実現 | 進路指導講話3回以上 | A | 外部講師による講話を1回、進路課長による講話を2回実施した。 | 生徒の実態に応じた内容の講話を行うため、講師との事前打合せを、より丁寧に行う。 |
| | | 進路決定率(就職・進学)100% | B | 就職内定率100%。進学者はいなかった。 | 生徒の適性や能力に合った進路指導を行うため、担任、保護者との連携をより深める。 |
| | 心身健康で豊かな心 | 基本的生活習慣の定着 | 出席率90%以上 | B | 4～3月末日までの出席率は、88.1%となっている。 |
| 挨拶の励行と式典での正装率100% | | | B | 徐々にではあるが、生徒から自発的に挨拶ができるようになってきている。式典出席者の服装は、概ね整っている。 | 引き続き、教員から率先して、挨拶しやすい雰囲気づくりに努める。TPOに合った服装について考えさせることにより、生徒自身が主体的に判断できるよう指導していく。 |

| | | | | | |
|-----------|-----------------------------|-----------------------|---|--------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 心身健康で豊かな心 | 自分を大切にし、他人のことを考えて行動できる生徒の育成 | 登校指導毎日 | A | 教員による登校指導を毎日実施し、生徒観察や声掛けができています。なお、正門付近での事故は、1件も発生していません。 | 職員による毎日の登校指導の継続と、交通安全委員や生徒会による挨拶運動や交通安全運動の活性化を図る。 |
| | | 人権侵害・いじめ防止のための取組10回以上 | A | 全クラスでアンケートと面接を各4回、人権侵害・いじめ防止のホームページ活動を2回行った。さらに、1年次にSSTやデートDV防止研修を行っている。 | 新聞報道等を取り上げて、新時宜を得た人権啓発を行うなど、ショートホームページの有効活用にも努める。 |
| | 一人一人の尊重及び悩み・トラブルの解消 | 面接5回以上 | A | 全校面談2回、担任面接6回実施した。 | 教員を対象に、面接の仕方の研修を行うなど、面接の質の向上を図る。 |
| | コミュニケーション能力・表現力の向上 | 県生徒生活体験発表大会入賞（4位以内） | B | 全生徒が作文に取り組み、校内大会で選ばれた3名が、南予大会に出場した。そのうち1名が最優秀賞になり、県大会に出場したが、入賞には及ばなかった。 | 文章の指導のみにとどまらず、内容の深まりや発表の仕方についての指導にも力を入れいく。 |
| | | 全ての行事実施後の感想文等の作成 | A | 全ての行事において、実施後、感想文を書いたり、感想を発表したりした。 | 引き続き、感想を書かせる機会を多く持つことにより、感受性や表現力を高めさせる。 |
| 魅力ある特別活動 | 生徒主体の学校行事 | 学校行事満足度100% | B | ナイトカーニバル文化祭及び運動会の事後調査では、満足度96%の結果であった。 | それぞれの行事の実施目的をより明確にすることで、内容の充実を図り、満足度の向上を目指す。 |
| | | 県定通総体参加率60%以上 | A | 県定通総体の参加率は80%に達し、開設以来最も多くの生徒が参加した。 | 県定通総体を運動部の主たる活動目標と位置付け、引き続き、部活動の活性化を図る。 |
| | 部活動の充実 | 活動日週2回以上 | B | 活動時期が集中する文芸部以外では、ほぼ毎日活動する部もあり、よい活動ができています。活動への参加率も徐々に高くなっている。 | 週2回以上の活動を継続するとともに、プレイヤーとしてだけでなく、活動補助を含めた参加を促すことにより、更なる参加率の向上を図る。なお、運動部と文化部の特性に合わせて、活動指標を見直す。 |

※評価は5段階（A:十分成果があった B:かなり成果があった C:一応の成果があった D:あまり成果がなかった E:成果がなかった）